



南東北 ぶくしま

平成30年7月1日 Vol.89

[発行] 南東北福島病院・リハビリ南東北福島

〒960-2102福島市荒井北三丁目1-13/TEL.024-593-5100

【院是】すべては患者さん・利用者さんのために

不随意運動に対する外科治療

南東北福島病院
院長代行(脳神経外科) 仲野 雅幸



仲野雅幸院長代行

まぐ字を書けないということも振戦の一種。緊張して手が震えるというのも生理的な振戦と言えます。病的な振戦は①本態性振戦②パーキンソン病による振戦③他の病気による振戦などに分類されます。

①本態性振戦は文字を書く時、コップで水を飲む時、箸を使う時、茶碗を持つ時、箸でものをつまもうとする時に出現

意に反して体が動いてしまう

お困りの方は当院に相談を

今回は、当院で行っている不随意運動に対する外科治療を紹介します。不随意運動とは、意のままに(随意)ではなく意に反して(不随意)に体の一部分または全体が勝手に動いてしまう症状を指します。てんかん発作の時に生じる痙攣(けいれん)の動きも不随意的ですが、一般的にはこれは含まれず①振戦(しんせん)②ジストニア③ジスキネジア④パリスム⑤舞踏病などが不随意運動として分類されています。以下①から③までの代表的な病態を解説します。

〈振戦(しんせん)〉

振戦とは、特に手指が細かく震える状態を指します。例えば力仕事をした後に文字を書こうとすると手が震えてう

する震え。要するに何か行おうとする際に出てくる振戦です。脳の加齢的な変化が関係していると考えられます。内科的治療としてはある種の降圧剤、いわゆる精神安定剤などが用いられます。薬物治療でコントロール困難な場合には、外科治療の適応となります。②パーキンソン病による振戦は、安静にしていて手を意識しない状態になった時に出現する振戦です。歩行時にも出現します。振戦以外にも体が固くなった感じ、動作緩慢、歩行困難(最初の一步が

出ない、歩いているとだんだん速足になって転んでしまう)、顔の表情が少ないなどの症状を合併したりします。

最初の治療として抗パーキンソン病薬が用いられ、薬がよく効く場合にはそれだけで振戦はコントロールされますが、病状の進行に伴い薬物でのコントロールが困難となつてゆきます。薬物でのコントロールが困難な場合は、外科治療の対象となつてきます。

〈ジストニア〉

ジストニアとは体の部分、

または全体の筋が異常に緊張し、勝手にゆっくりとした動きが出てしまう状態を指します。具体例を挙げると、食事など日常生活には支障がないが、例えばピアノストがピアノを弾く時だけ手の震えが出たり指が突っ張ったりしてピアノが弾けなくなる、書家が筆を持って字を書こうとすると震えてうまく字を書けない、画家が同様に絵を描けなくなるなどの状態は昔から「書痙」として知られ、精神的なものとして片づけられていた感が否めません。しかし

現在では「局所性ジストニア」とジストニアの一種と考えられるようになり、薬物治療でコントロール困難な時には外科治療の有効性が確立されています。全身的なものではなく、遺伝性ジストニアという遺伝子異常により生じる病気が知られています。こちらは外科治療(脳深部刺激療法)後述)の有効性が確立されています。頸部と上肢に異常運動が出る場合には、局所より広くて全身より狭いので、分節性ジストニアという診断となりますが、薬物治療が奏功しない場合には外科治療を行う価値があります。

〈ジスキネジア〉

聞きなれない名前ですが、うまい日本語訳がありません。もつとも多いのがパーキンソン病の方が薬物治療を受けて数年経つと出現してくる病態です。パーキンソン病は薬物(2面に続く)

今月号のなかみ

- ▼2面 理学療法士から「当院が今年度も福島県地域リハビリテーション広域支援センター」に、7月のスケジュール、1面つつき
- ▼3面 薬剤科だより「漢方は日本の伝統医学」、栄養ひとくちメモ、南東北グループ球技大会
- ▼4面 ゆきうさぎ通信、今月のレシピ

福島県地域リハビリテーション

広域支援センター指定 当院

理学療法士から

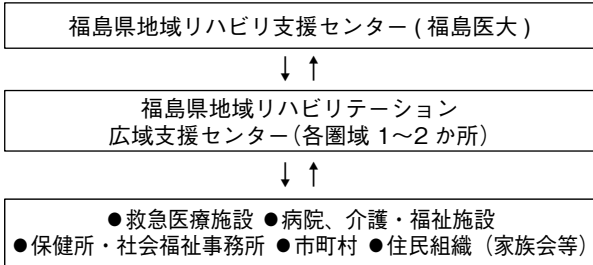
南東北福島病院は、平成30年度も前年度に引き続き、「福島県地域リハビリテーション広域支援センター」に指定されました。

「地域リハビリテーション」とは、ノーマライゼーションを基本理念とし、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で生涯にわたって生き生きとした生活を送ることができるよう、生活に関わるあらゆる人々や機関がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべてのことを言います。

福島県では、平成12年から「福島県地域リハビリテーション支援体制推進事業」を実施し、市町村や関係機関、住民団体などを支援しています。当院は、当初から福島県地域リハビリテーション相談センターに指定されていますが、平成29年度より福島県地域リハビリテーション広域支援センターに指定され、今年度も更新審査を通り再度指定されました。(リハビリテーション科 理学療法士 渡辺知子)

地域リハビリテーション広域支援センターが行うこと

- 1. 地域のリハビリ実施機関の支援
①地域住民の相談への対応に係る支援
②福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援(テクノエイド)
2. リハビリ施設の共同利用
3. 地域のリハビリ施設等における従事者への援助・支援
①施設に出向いて行うリハビリ従事者への支援
②リハビリ従事者に対する研修
4. 地域レベルの連絡協議会の設置運営
＝イメージ図解(右) 参照



※病院・介護施設のうち、県北圏域では30か所、地域リハビリテーション相談センターに指定されています。

南東北福島病院講演会 7月スケジュール

Table with 5 columns: 月曜日, 時間, 講師, 講演内容, 場所. It lists various lectures and seminars held at the hospital throughout the month of July.

(1面からの続き)

でドーパミンというホルモンを補うと震えが止まり、体の動きもよくなりますが、治療を開始して数年経つと、薬の服用後に薬が効きすぎるような状態になり、勝手に体が動いてしまう状態が出てくるようになります。この病態がジソン病治療の問題点の一つです。このような場合には、脳深部刺激療法で症状改善が期待できます。

外科治療

古くから振戦に対する外科

治療は、凝固術という方法で行われてきました。脳の深部には神経細胞の密集しているところがあり、大脳基底核や視床と呼ばれています。これらの一部を電気凝固(焼灼)して、振戦などの症状を改善させる手術が日本では1950年代から行われてきました。このような手術を凝固術といいます。

もう一つの脳深部刺激療法(DBS)は、脳の深部に電極を埋め込んで電気刺激することによって凝固と同じ効果を出す方法です。凝固は一回限りの手術でその後の症状の変化に

対応できないという問題点がありました。この方法は効果が低下しても電圧などを調節することで効果を維持することが可能です。症状の変化に対応していくことができるわけです。しかし電極やリード線、刺激装置を体内に植え込まないといけないので、凝固術に比べると大がかりとなります。いずれにしても、それぞれの患者さんに合わせて手術法を選び、治療を進めていくことが大事です。当院では、これらの手術が可能ですので、振戦やジストニアでお困りの方はご相談ください。

漢方は日本の伝統医学

薬剤科だより

漢方薬にはどのようなイメージをもっておりませんか？効果も穏やかで体にやさしい、副作用がない、長く飲まないといけない、などでしょうか。昔から長く使われてきた薬であるためか、誤解されている部分が多いにあるようです。

漢方薬は中国の医学と勘違いしている方も多いのではないのでしょうか。確かに大本の起源は中国にあるのかもしれませんが、日本に中国の医学

が伝来した後、日本の気候や風土の中、そして日本人の体質などに合わせて独自の発展を遂げ、漢方薬はできあがりました。現在用いられている



漢方は日本の伝統医学、日本の独自の医学と言えます。また一言に漢方薬と言ってもさまざまなタイプがあり、その中には飲んですぐに効くタイプの漢方薬と、飲み続けることで効いていくタイプの漢方薬があります。そして、どのような薬にも副作用が生じる可能性があるように、漢方薬にも副作用が生じる可能性があります。薬同士の飲み合わせにも注意を払う必要があります。

安心・安全なイメージのある漢方薬ですが、他の薬と同様に、服用の際は添付文書や薬の説明をよく読んで正しく服用しましょう。

(薬剤科 薬剤師 柳沼歩)

栄養ひとくちメモ

シャキシャキ!!レタス



スーパの具材や

しゃぶしゃぶにも

レタスの旬は4〜8月と11〜12月頃の年2回あるといわれています。暑さに弱いので真夏には高地栽培のレタスが

多く出回っています。

【成分】

レタスは成分の約95%が水分です。玉レタスはサニーレタスやリーフレタスなどの葉レタスよりも含有量は少なくなりますが、ビタミンC、E、β-カロテン、葉酸、カリウム、カルシウムなどを含みます。

【選び方】

選ぶ際は葉に張りがあり、芯の切り口が変色していないものが新鮮です。全体的に色が明るく、持った時に軽めです。ふんわりしているものが、や

わらかく味が良いです。

【食べ方】

レタス料理というと生のままサラダや肉料理の付け合わせにすることが多いですが、スーパの具材や、豚肉としゃぶしゃぶにするなどの加熱調理もおいしいです。電子レンジで3分ほど加熱し、薬味をのせるのも、生の食感と違ったレタスを楽しむことができます。シャキシャキとしんりの両方を楽しめるレタスを旬の時期に味わってみてはいかがでしょうか。

(管理栄養士 佐藤あゆみ)



入場行進で自慢の旗を披露する福島チーム

福島は90人が参加 チーム一丸で挑戦

南東北グループ球技大会

毎年恒例となりました「南東北グループ球技大会」が5月13日(日)に郡山市の西田グラウンドで開催されました。北は青森から南は東京、神奈川まで南東北グループの関

連施設の職員と家族が一堂に集まり、19グループに分かれ、競技を行いました。当日は小雨が降ったりやんだりの天気でしたが、会場は熱気と声援に包まれ、大盛り上がりでした。

福島チームは約90人の職員が参加しました。入場行進では、テレビやCMで話題沸騰中の「ひよっこりはん」をテーマに選び、田地野崇宏院長を中心に音楽に合わせてパフォーマンスを披露しました。競技は、男女混合PK合戦、ドッジボール、男女混合フリースロー、男女混合ダブルス卓球、ニアピンゴルフの各種目と親子競技が行われました。

福島チームは男女混合フリースローと男女混合PK合戦で順調に勝ち進んだものの、惜しくも入賞には至りませんでした。しかし、競技者も応援者も一丸となつて大会に挑むことで、より結束を強めることができました。スポーツを通してみんな汗を流し、声を出し合い、心身ともにリフレッシュすることができ、福島島の職員同士のみならず、グループ同士の親睦を深めることができた一日となりました。来年こそ優勝旗を持ち帰れるよう頑張ります。

(親睦会担当者)

ゆきこうさぎ通信



発行
リハビリ南東北福島

おやつ手作りおいしい

5月22日(火)、各フロアで「おやつクッキング」が行われました。今回作ったメニューは「バナナパンケーキ」。材料は栄養科が準備し、分量を計り終わったものを各フロアに配り実施しました。

通所リハビリでは、材料を混ぜる作業から卵を割る作業、フライ返しまで利用者の皆さんにやっていたいただきました。参加した利用者さんからは「いつもは嫁さまにやってもらってたばかりだったから、久々に料理をした」「みんなで作るのも楽しいね」と言った声が聞かれ、生き生きとした表情が見られました。

また、調理には参加しなかった利用者の皆さんも「良い匂いだね、早く食べたいな」「出来るのが楽しみだね」などの声が聞かれました。

のど自慢大会 大盛り上がり

5月はりハビリ南東北福島で「のど自慢大会」が開催されました。今年は各フロアでの開催となり、どのフロアも素晴らしい盛り上がりでした。

2階フロアでは、大勢の前で歌うのが恥ずかしい利用者さんが多く、全員が参加できる合唱を取り入れました。いつもはあまり参加に積極的ではない利用者さんも楽しそうに歌っている姿が見られました。

また、歌を歌うだけではなく、身体を使った「歌謡エクササイズ」や音楽に合わせて行う「リズム体操」を取り入れ、大いに盛り上がりました。

歌うのが苦手な人も「楽しかった」「面白かったよ」と笑顔で話されました。今後もこのような行事を通して、利用者の皆さんと共に楽しめる行事を実施していきたいと思っておりました。



「バナナパンケーキ」作りに挑戦する利用者さん



のど自慢の合間にリズム体操を行う利用者さんら

今月のレシピ

枝豆スティック



アツアツのチーズと枝豆のハーモニー、サクツとした皮の食感をお楽しみください★

作り方

- ①チーズは1個を6等分に切る。
- ②ワントンの皮に、枝豆とチーズを交互に並べる。(1本につき枝豆3粒、チーズ2切れ)
- ③スティック状に巻いて、巻き終わりと両端に水を塗ってしっかり止める。
- ④小さめのフライパンに油を180度に熱し、③をカラッと揚げる。
- ⑤器に盛り、塩をふる。

効用

枝豆は、良質のたんぱく質を多く含みます。アルコールを分解する働きがあるビタミンB1などの栄養も多く含まれているのが特徴です。



材料(4人分)

- 枝豆…………… 36粒 (塩ゆでしてさやから出したもの)
- プロセスチーズ…………… 4個
- ワントンの皮…………… 12枚
- 水…………… 少々
- 油…………… 適量
- 塩…………… 少々

リハビリ南東北福島栄養管理

南東北 ぶくは vol.89

発行日 平成30年7月1日
 発行 (一財)南東北福島病院
 リハビリ南東北福島
 住所 〒960-2102
 福島市荒井北三丁目1-13
 ☎024-593-5100
 印刷 株式会社 民報印刷